

報 告

第62回北関東医学会総会報告

日 時 平成27年10月1日(木), 2日(金)

場 所 群馬大学医学部刀城会館

第62回北関東医学会総会と諸行事は平成27年10月1日, 2日の両日にわたり, 群馬大学医学部刀城会館において開催され, 約400名参集, 滞りなく終了した。

第一日目は, 13時00分より峯岸会長の開会挨拶に始まり, 一般演題39題(ポスター発表), 特別講演3題, 同窓会推薦講演1題が行われた。第二日目午前中には, 同窓会推薦講演1題, 特別講演1題, ワークショップ『超高齢社会における保健学研究』が開催された。12時10分より医学部刀城会館において評議員会・総会の開催, 併せて第19回北関東医学会奨励賞, 第6回北関東医学会 The KITAKANTO Medical Journal 優秀論文賞の授与式が執り行われた。また昨年度と同様, 一般演題(ポスター発表)の活発な発表を促すため, 特に優れた発表に対し優秀発表賞を授与した。引き続き北関東医学会奨励賞受賞者の受賞講演3題, 北関東医学会 The KITAKANTO Medical Journal 優秀論文賞受賞者の受賞講演1題, 特別講演1題が行われた。両日合わせ延べ400名参集, 閉会となった。

評議員会においては, 会長の指名により小山庶務担当理事が議長となり, 議事が進行された。各担当理事より平成26年度本会会務報告, 決算報告, および各委員会報告(編集委員会, 総会実行委員会)があった。次に本年3月退官された白倉賢二氏, 伴野祥一氏, 長嶺竹明氏, 岩永喜久子氏の4名が名誉会員として推薦され, 承認された。引き続き, 役員の変更(別記一覧参照), 評議員の変更(別記一覧参照), 平成28年度予算案, 北関東医学会会則・評議員の資格1の改正案が承認され, 次期総会開催日は平成28年9月29日(木), 30日(金)に決定された。

第19回北関東医学会奨励賞については, 選考委員会の厳正なる審査の結果, 群馬大学医学部附属病院皮膚科 岸 史子氏, 群馬大学医学部附属病院消化器内科 栗林志行氏, 群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション学 李 範爽氏に決定された旨の報告があり, 了承された。また第6回北関東医学会 The KITAKANTO Medical Journal 優秀論文賞については, 編集委員会からの推薦者として女子栄養大学大学院臨床栄養医学研究室 小野裕美氏(The KITAKANTO Med. J. Vol. 64 No. 1 掲載論文)に決定された報告があり, 了承された。

〈役員一覧〉

任 期 平成27年1月1日~平成28年12月31日 (*印は新役員, ◎印は委員長)

会 長	峯 岸 敬*	(4月1日)	
理 事 会 計 担 当	富 田 治 芳	中 野 隆 史	
〃 庶 務 担 当	小 山 洋	池 田 佳 生	土 橋 邦 生
〃 編 集 担 当	石 崎 泰 樹	対 馬 義 人	村 上 博 和*(4月1日)
〃 学 会 担 当	小 湊 慶 彦	牛久保 美津子	横 尾 英 明
〃 生体調節研究所	泉 哲 郎*	(4月1日)	
〃 同窓会代表	飯 野 佑 一	石 田 常 博	岡 田 恭 典
編 集 委 員	◎石 崎 泰 樹	対 馬 義 人	牛久保 美津子
	小 湊 慶 彦	常 盤 洋 子	横 尾 英 明
	高 橋 昭 久	高 橋 綾 子*	(6月1日)
編 集 委 員 長 補 佐	柴 崎 貢 志		
学 会 委 員	◎小 湊 慶 彦	牛久保 美津子	横 尾 英 明
	高 橋 昭 久	村 上 徹	高 橋 綾 子*(6月1日)
ホ ー ム ペ ー ジ 等 委 員	村 上 徹		
監 事	柳 川 右 千 夫	興 石 一 郎*	(4月1日)

〈評議員一覧〉

会則第 25 条の細則

1. 国立大学法人群馬大学大学院医学系研究科, 同保健学研究科, 医学部附属病院, 生体調節研究所, 重粒子線医学推進機構, テニュアトラック普及推進室 (昭和キャンパス)・先端科学研究指導者育成ユニット (先端医学・生命科学研究チーム), 未来先端研究機構に在籍する専任の教授, 准教授および講師, 評議員を経験した群馬大学の理事,

医学系研究科および医学部附属病院

秋山英雄	天野博雄	荒川浩一	荒木拓也
飯塚伯	池田将樹	池田佳生	伊古田勇人
石川治	石崎泰樹	和泉孝志	磯達也
伊藤一人	井上顕	岩脇隆夫	大上厚志
大嶋清宏	岡田秀一	岡田恭典	岡本雅彦
小幡英章	大日方英	小山徹也	柿崎暁
門井雄司	金古善明	金子和光	鎌田英男
亀田高志	河村英将	菊地麻美	岸章治
岸美紀子	岸裕司	木村孝穂	草野元康
國元文生	倉林正彦	黒田昌孝	桑野博行
小池秀和	鯉淵典之	向後寛	小西昭充
小湊慶彦	小山洋	小山佳成	小和瀬桂子
齋藤繁	齋藤淳一	齋藤勇一郎	佐藤拓
佐藤哲郎	佐藤浩子	佐野孝昭	佐野利恵
柴崎貢志	柴田康博	清水晶	清水公裕
白井克幸	白尾智明	鈴江一友	鈴木和浩
鈴木信	角野博之	高岸憲二	高澤知規
高鶴裕介	高橋綾子	高橋克昌	高橋徹
高安幸弘	滝沢琢己	竹吉泉	多鹿友喜
伊達佑生	立井一明	谷本弘一	田村遵一
近松一朗	塚本憲史	対馬義人	堤莊一
徳江豊	登坂雅彦	戸所大輔	富田治芳
鳥飼幸太	永井弥生	中島忠	中野隆史
中村彰男	中村卓郎	中村哲也	成田耕介
西山正彦	野島美久	野田真永	服部健司
半田寛	樋口徹也	久枝一	久田剛志
日野原宏	平井宏和	平川隆史	平戸純子
平戸政史	廣村桂樹	福田正人	藤田行雄
細井延武	堀口淳	前嶋明人	前野敏孝
牧口貴哉	松崎利行	峯岸敬	村上徹
村上正巳	茂木晃	茂木精一郎	安田浩樹
柳川天志	柳川右千夫	山下宗一	山田正信
山中正義	山本康次郎	横尾聡	横尾英明
横濱章彦	横堀武彦	好本裕平	依藤宏
六代範	和田直樹		

保健学研究科

浅野修一郎	安部由美子	李範爽	井出成美
今井忠則	上宮英之	牛久保美津子	臼田滋
内田陽子	江本正志	大西浩史	大山良雄
岡美智代	恩幣宏美	金泉志保美	上山真美

川島智幸	神田清子	菊地千一郎	國清恭子
興石一郎	近藤浩子	近藤由香	齋藤貴之
坂本雅昭	佐光恵子	佐藤由美	篠崎博光
嶋田淳子	辻村弘美	十枝はるか	常盤洋子
外里富佐江	土橋邦生	都丸正彦	豊村暁
中里享美	中村和裕	林邦彦	福田利夫
二渡玉江	堀越政孝	牧野孝俊	三井真一
村上博和	村田祥子	森淑江	柳奈津子
山口晴保	山崎恒夫	山路雄彦	横山知行
吉田亨	吉田朋美	渡邊秀臣	

生体調節研究所

泉哲郎	岡島史和	奥西勝秀	北村忠弘
小島至	佐々木努	佐藤健	佐藤幸市
佐藤隆史	佐藤美由紀	柴田宏	徳永文稔
鳥居征司	畑田出穂	原太一	山下孝之

重粒子線医学推進機構

大野達也	高橋昭久	取越正己	松井博
------	------	------	-----

テニュアトラック普及推進室(昭和キャンパス)・先端科学研究指導者育成ユニット(先端医学・生命科学研究チーム)

定方哲史

未来先端研究機構

田代睦	吉田知史
-----	------

2. 会長の推薦する医学に関する行政, 研究, 診療等の機関の長および県, 郡, 市の医師会長で評議員会の承認を得た者.

赤田卓志朗	新井昌史	大竹雄二	鹿沼達哉
唐澤正光	川島理	栗原龍雄	櫻井慶一
猿木信裕	高橋好一	竹澤二郎	竹原健
田代雅彦	月岡関夫	中野実	中屋光雄
藤江篤	藤塚勲	堀越勤	前村道生
真中千明	丸山健一	水口滋之	山崎恒彦
李雅弘			

3. 群馬大学医学部同窓会長の推薦する同窓会員且つ正会員で評議員会の承認を得た者.

相澤徹	青木秀夫	麻生好正	有坂實
家入蒼生夫	石内勝吾	石川三衛	石崎政利
石田常博	石田秀行	市川邦男	市川秀一
犬飼敏彦	今城純子	上里博	遠藤久子
大川匡子	大澤英夫	大澤雄二郎	太田節雄
大塚勤	大月邦夫	大橋京一	加藤真吾
加藤良二	金井幸子	金井好克	金澤紀雄
狩野繁之	狩野正之	川島康宏	神田享勉
桑原英真	小池脩夫	河野徳雄	小島章
小山諭	齋藤和子	齋藤龍生	櫻井英幸
佐々木惇	笹島ゆう子	佐藤和雄	佐藤哲雄
新開紘子	杉本博之	鈴木忠	鈴木義行

高橋 悟	高橋 健夫	高橋 徳之	竹内 一夫
竹之下 誠一	田中 聡一	田邊 晃久	田部井 薫
玉木 義雄	都築 靖博	戸塚 恭一	中野 眼一
中林 公正	新浪 博重	野際 英司	野元 正弘
長谷川 正俊	早川 和重	樋口 次男	深町 彰
星 博昭	堀 貞夫	正和 信英	真塩 清
松川 隆	松崎 茂典	松本 満臣	間藤 方雄
三橋 紀夫	水上 尚典	宮本 幸男	持木 彫人
柳澤 昭夫	山田 昇司	横江 隆夫	

4. 推薦評議員

有賀 長規	石田 稔	石原 弘	糸賀 俊一
井上 登美夫	岩森 秀樹	大島 茂	小川 龍
加藤 宣雄	小林 幹男	佐藤 仁	柴山 勝太郎
杉田 憲一	高橋 聖之	高橋 伸夫	瀧口 道生
滝澤 久夫	塚越 日出夫	永井 正規	西田 保二
貫井 英明	牧元 弘之	丸田 栄治	水島 豊子
水沼 英樹	宮崎 瑞穂	村岡 正	村上 優子
山崎 雙次	渡邊 治雄		

会則第 5 条の 2.

(名誉会員)

饗場 庄一	飯野 佑一	五十嵐 正雄	池 康嘉
泉 雄勝	井上 榮	伊豫部 志津子	岩 永喜久子
牛込 三和子	遠藤 啓吾	大野 絢子	岡本 幸市
小河原 はつ江	小澤 澯司	小坂橋 喜久代	後藤 文夫
小濱 一弘	小林 功夫	小林 夏子	近藤 洋一
酒井 保治郎	酒卷 哲夫	佐藤 久美子	椎原 康史
白倉 賢二	鈴木 慶二	鈴木 庄亮	鈴木 守
鈴木 光雄	平 一男	高田 邦昭	高山 清茂
竹内 利行	伴野 祥一	永井 輝夫	中里 洋一
中澤 次夫	長嶺 竹明	成清 卓二	新部 英男
橋本 一士	浜名 康彦	平井 俊策	福田 春枝
藤田 達也	古屋 信彦	保坂 公平	星野 洪彦
堀内 龍也	町山 幸輝	三浦 光彦	三國 昭廣
村田 和彦	茂木 健司	森 昌朋	森川 昭己
森下 靖雄	山下 哲	山中 英壽	若林 克己

報 告

第19回北関東医学会奨励賞

平成8年に創設された北関東医学会奨励賞の今年度、第19回受賞者の募集が本会機関誌「The KITAKANTO Medical Journal」第65巻1号で行なわれた。理事会の決定により組織された北関東医学会奨励賞選考委員会（以下、選考委員会）が4月23日に行われ、小山徹也選考委員長の議事進行の下、始めに選考方針の確認を行った。その結果、前年の方針に倣い、評価基準を1. 科学、臨床、保健医学上での重要性、2. 将来の発展性、3. 独創性、4. 北関東医学会・地域に対する貢献度、5. 論文全体にあらわれた業績とした。また、受賞年齢上限を厳格に適用することとした。続いて、候補者の選考に移り、選考委員に予め検討を依頼してあった各候補者の推薦書と「業績の課題」に関する論文2篇をもとに厳正なる審査を行った。その結果、受賞候補者として岸 史子氏（群馬大学医学部附属病院皮膚科）、栗林志行氏（群馬大学医学部附属病院消化器内科）、李 範爽氏（群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション学講座）を選出し、岸氏、栗林氏、李氏の3名を第19回北関東医学会奨励賞受賞候補者として選考した旨を奨励賞規定に基づき会長に答申した。6月10日開催の平成27年度第1回理事会において、この3名の候補者を受賞予定者として決定し、10月2日に開催された平成27年度評議員会に報告した。また、同日の第62回北関東医学会総会会場において執り行われた北関東医学会奨励賞授与式において峯岸 敬会長より岸 史子氏、栗林志行氏、李 範爽氏の3氏に賞状、記念楯および副賞が授与された。

北関東医学会奨励賞受賞者

氏 名 岸 史子

所 属 群馬大学医学部附属病院皮膚科

最終学歴 群馬大学大学院医学系研究科博士課程修了（平成27年1月）

業 績

- (1) 業績の課題 アトピー性皮膚炎における免疫応答システムの解明
- (2) 研究実地活動等の概要

アトピー性皮膚炎モデルマウスにマウスマラリアを感染させたところ、マラリア感染によって皮膚炎は改善した。マラリア感染マウス皮膚において、病理組織学的にも湿疹病変が改善することを確認し、NK細胞が増加していることを見出した。中和抗体を用いてあらかじめNK細胞を除去した状態では、マラリア感染による皮膚炎の改善は起こらなくなること、さらにNK細胞を移入したマウスではマラリア感染なしでも皮膚炎が改善することを明らかにした。これらの知見から、NK細胞を制御することでアトピー性皮膚炎をコントロールし得る可能性が示唆された。（Allergy 2014; 69: 1412-1419）

- (3) 関連研究・関連活動等の概要

群馬大学医学部附属病院において皮膚科疾患全般の診断と治療をおこなっている。特に全身性エリテマトーデスに関しては専門外来を担当し、疫学研究、臨床研究を行っている。

氏 名 栗林 志行

所 属 群馬大学医学部附属病院消化器内科

最終学歴 群馬大学大学院医学系研究科博士課程修了（平成23年3月）

業 績

- (1) 業績の課題 食道運動からみた睡眠と胃食道逆流症との関連について
- (2) 研究実地活動等の概要

胃食道逆流症と閉塞性睡眠時無呼吸症候群との関連について検討した。睡眠ポリソムノグラムに併用して、食道内圧検査と食道内pHモニタリングを行い、従来は閉塞性睡眠時無呼吸イベントの際の食道内の陰圧増大に伴い胃食道逆流が生じると推測されていたが、食道内の陰圧増大に伴い食道胃接合部圧は上昇して逆流を防いでいることを明らかにした。また、閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者で夜間睡眠時中に生じる胃食道逆流の主な発生機序は、健常人や胃食道逆流症患者と同様に一過性下部食道括約部弛緩であることを報告した。

(3) 関連研究・関連活動等の概要

群馬大学医学部附属病院において消化器疾患, 特に消化管疾患の診断と治療を行っている。また, 食道運動を中心に消化管疾患に関する臨床研究を行っている。

氏 名 李 範爽

所 属 群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション学講座

最終学歴 群馬大学大学院医学系研究科博士課程修了 (平成 21 年 9 月)

業 績

(1) 業績の課題 脳機能画像法や運動生理学的手法を用いた認知・運動に関する研究

(2) 研究実地活動等の概要

脳機能画像法を用いた認知機能に関する研究は, 視覚探索課題を用いて正常脳頭頂葉の磁場活動を測定, 左下視野の潜時が左上視野より有意に延長したことを報告した (Lee B et al. Int J Psychophysiol 2009). 運動生理学的手法を用いた認知機能に関する研究では, 圧センサーを用いて把持力パターンを測定, 二重課題遂行時の最大把持力が単一課題より有意に増加したことを報告した (Lee B, et al. The Kitakanto Med J 2014).

(3) 関連研究・関連活動等の概要

群馬大学大学院保健学研究科において, アジア地域におけるチーム医療教育の現状と課題, 普及に関する研究を行っている (Lee B, et al. J Interprof Care 2013).

報 告

第 6 回北関東医学会 The KITAKANTO Medical Journal 優秀論文賞

北関東医学編集委員会からの推薦による The KITAKANTO Medical Journal 優秀論文賞は平成 22 年, 本誌の更なる充実と医学研究者の育成を目指し, 北関東医学会奨励賞から独立し, 北関東医学会 The KITAKANTO Medical Journal 優秀論文賞として創設された。第 6 回受賞者の募集が本会機関誌「The KITAKANTO Medical Journal」第 65 巻 1 号で行なわれ, 石崎泰樹選考委員長の議事進行の下, 北関東医学会 The KITAKANTO Medical Journal 編集委員会が 3 月 12 日に行われた。平成 26 年度掲載論文に関して, 各編集委員より推薦を受けた論文の採点集計及び厳正なる審査を行った。その結果, 受賞候補者として女子栄養大学大学院臨床栄養医学研究室 小野裕美氏 (The KITAKANTO Med. J. Vol. 64 No. 1 掲載論文) を第 6 回北関東医学会 The KITAKANTO Medical Journal 優秀論文賞受賞候補者として選考した旨を規定に基づき会長に推薦した。6 月 10 日開催の平成 27 年度第 1 回理事会において, この 1 名の候補者を受賞予定者として決定し, 10 月 2 日に開催された平成 27 年度評議員会に報告した。また, 同日の第 62 回北関東医学会総会会場において執り行われた北関東医学会 The KITAKANTO Medical Journal 優秀論文賞授与式において峯岸 敬会長より小野裕美氏に賞状, 記念楯および副賞が授与された。

北関東医学会 The KITAKANTO Medical Journal 優秀論文賞受賞者

氏 名 小野 裕美

所 属 女子栄養大学大学院臨床栄養医学研究室

最 終 学 歴 女子栄養大学大学院栄養学専攻修士課程修了 (平成 19 年 3 月)

受賞論文名 Stress-induced Biomarkers in Liver with Non-alcohol Fatty Liver Diseases
and Non-alcohol Steatohepatitis

(Vol. 64 No. 1)